

# ましみずの里



学校教育目標 「自ら学び、ともに伸びる 一夢に向かう くらしづくりー」

めざす子供像 自ら考え表現し合う子、自ら開きわかり合う子、自ら挑み高め合う子

## 学校評価アンケートの結果と来年度の学校運営について

### I 保護者・児童アンケートについて

- 1 実施 令和4年11月（タブレット等によるデジタル回答）
- 2 対象 全保護者、全児童（各350名）
- 3 基準 A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

#### 〔保護者アンケート結果：抜粋〕

(%)

No.	設 問	A+B	C+D
1	お子さんは、楽しく学校に通っていますか。	91.6	8.4
2	先生は、勉強をわかりやすく教えていると思いますか。	93.7	6.3
3	お子さんは、自分から勉強に取り組むようになってきたと思いますか。	71.7	28.3
4	学校や先生は、いじめをなくすことに、一生懸命に取り組んでいると思いますか。	90.5	9.5
5	お子さんは、多少の困難があっても途中であきらめない粘り強さが出てきたと思いますか。	79.5	20.5
6	お子さんは学年に応じた善悪の判断や規範意識が身についていると思いますか。	93.7	6.3
7	授業参観や懇談会、面接や相談など、学校は行きやすい場になっていると思いますか。	77.4	22.6
8	お子さんは、家庭や地域であいさつをする習慣がついていますか。	74.7	25.3

#### 〔児童アンケート結果：抜粋〕

(%)

No.	設 問	A+B	C+D
1	あなたは、学校で勉強したり友だちと遊んだりすることが楽しいですか。	92.9	7.1
2	あなたは、自分で勉強の仕方を工夫したり、よりよい生活になるように自分で考えたりしてくらしをつくることができましたか。	87.0	13.0
3	先生は、勉強をわかりやすく教えてくださいますか。	95.3	4.7
4	学校や先生は、相談にのってくれたり、いじめをなくしたりすることなどに一生懸命に取り組んでいると思いますか。	92.2	7.8
5	あなたは、相手の気持ちを考えて行動することができていると思いますか。	85.7	14.3
6	あなたは、読書が好きで、いろいろな種類の本を進んで借りていると思いますか。	67.4	32.6
7	あなたは、登下校のときなど、地域の方に進んであいさつをしていると思いますか。	82.3	17.7
8	地域の人と一緒に活動したり、地域のことを学んだりすることは好きですか。	85.1	14.9

## [アンケート結果の考察]

- **保護者も児童も、楽しい学校生活となっていると高く評価しています。**  
⇒ 今後も、安全な施設環境を維持し、安心できる人的環境づくりに努めます。
- **児童は、授業における教師の指導や、個別相談などの生活支援を信頼しています。**  
⇒ 児童の「わかりたい」「できるようにになりたい」との願いと、「困りごとを早く改善したい」との思いに応える指導・支援を、引き続き大事にします。
- ▲ **感染防止のために、授業参観等が計画通りに実施できませんでした。**  
⇒ 分散型参観とするなどの策をとりましたが、十分ではありませんでした。新年度は、政府・文部科学省等の対応方針を踏まえ、学習活動を参観できる機会を探って参ります。
- ▲ **児童は、自身の読書について課題があると評価しています。**  
⇒ 時間割内の「図書時間」の充実を図るとともに、児童会図書委員会の活動と関連させ、様々な種類の本と出会うことで、児童が「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにできる」よう指導して参ります。
- ▲ **挨拶の習慣は、保護者と児童で評価に差があります。**  
⇒ 挨拶は社会で生きる上で基盤となる力と考えます。交通指導員さんや子ども見守り隊の皆さんへの挨拶について、道徳や通学班長会等で指導を続けます。

## [お寄せいただいたコメントについて]

### 1 子供たちの学習活動の発信について

⇒ 授業や行事の参観、ホームページやお便りなどを通して、子供たちの活動を家庭や地域の方に発信していくことは、大変重要なことであると理解しています。日頃の学習や生活の様子については、学年・学級通信の週予定だけでなく、担任の思いや子供たちの成長、学級の様子等がお伝えできるよう、内容の充実に努めて参ります。

### 2 タブレットに関わる学習について

⇒ 感染症による長期の自宅待機などの際に、国語・算数を中心に授業の一部をタブレット配信してきました。低学年の児童は、事前に操作指導をしておりますが、児童一人では対応できない場合などは保護者の皆様と連携を図り対応しています。

### 3 学級づくり・生徒指導について

⇒ ご意見一つ一つを真摯に受け止め、全職員で子供たちの確かな学力づくりや社会性の育成のために努力して参ります。人間関係に関わるトラブルは、いじめや登校できないなど深刻な影響を及ぼすことにもつながりかねません。家庭と学校が情報連携し意思を調べ取り組むことが一番の未然防止策であり、深刻化を防ぎます。ご家庭で心配なことがありましたら遠慮なさらずに職員へお知らせください。

### 4 登校班等について

⇒ 「班がばらばらになってしまう、一列に歩けない、あいさつに元気がない」などの課題が見られることから、安全な登校の仕方について、通学班長会・通学班会を開催したり該当する班を集め直接指導をしたりして対応しております。来年度の通学班編成と指導の中で、あいさつ指導も含めて確認するなどして取り組んで参ります。

## Ⅱ 令和5年度 学校運営について

保護者・児童アンケートの結果と考察、職員による自己評価、学校評議員会におけるご意見等を参考にして、令和5年度の学校運営を以下の方針と具体策等により進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 1 基本方針

- (1) 「不易」の再認識と実践化：今ある本校のよさを継承し、いっそう堅固にする。
  - ① 児童と職員が安心して暮らす学校環境を維持し、落ち着いた校風を守り育てる。
  - ② 保護者との意思疎通と協働実践者意識の醸成に努め、適切な指導・対応に努める。
  - ③ 地域資源を尊重し生かす教育実践を工夫する。
- (2) 「流行」の追求と挑戦：学校課題の解決・克服につながる実践に取り組む。
  - ① 確かな学力につながる豊かな学びを創造する。
  - ② 組織的校務運営を推進し、実践を充実する。
  - ③ 職員が心身ともに健康で、笑顔をたたえて児童と生活できる職場環境を創る。
- (3) 本校の歴史を尊び、一層の発展を決意：創立150周年記念事業に取り組む。
  - ① 「PTA」及び「校友会」と意思を揃え、実行委員会事業として協働する。
  - ② 記念事業は、児童の生活充実への寄与を第一として構想し実施する。
  - ③ 創立150周年を地域住民と喜び、関係者の労苦・献身に感謝する旨を主とする。

### 2 経営の具体策

- (1) 「くらしづくり」を基盤に「確かな学力づくり」を一層充実する。
  - ① 全ての職員が児童を慈しみ、児童理解を深めて教育実践を進めるとともに、職員同士で児童の今と未来を語り合い、成長を喜びながら職務にあたる。
  - ② 全ての職員は、公教育に従事する者として、命課された職務の重大性を認識し、児童の生活の事実（環境とそれぞれの心理・社会面、学力面、身体面等）をもとに、内なる願いに応える教育実践に努める。
  - ③ 教員は、教育目標実現のため特色ある教育課程を編制するとともに、実践を随時点検・修正し、児童の実態と生活に合致する単元構想の下に授業を構想する。
    - ア 担任する児童の実態の的確把握に努め、卒業まで獲得させたい資質・能力を俯瞰し、カリキュラムについての改善と効果的な指導実践の創造に努める。
    - イ 「朝のスピーチ」を国語科の帯単元（1M15分）と位置づけ、学年の発達段階に応じて指導時間や内容を調整しながら年間を通して実施する。
    - ウ 学校としての指導構想を踏まえ、「生活科」と「総合的な学習の時間」を充実する。
  - ④ 児童の生活とつながりを重視し、研究推進委員会を母体として授業改善と実践指導力向上に努め、「児童が没頭する授業」を創る。
- (2) 施設・設備の拡充等に積極対応する。
  - ① 児童の安全が確保され、安心して生活できる校舎・施設の整備に努める。
    - ア 教育総務課と協議を進め、多目的ホール2教室化改修工事に対応する。
    - イ 新6年教室は、今年度同様に音楽室とする。
  - ② 職員が校務に専念できる施設環境を調える。
    - ア 職員室内職員35名配置案や2・3階給食配膳室の拡張等について検討する。
    - イ 職員駐車場の不足は、高掬公民館敷地（学童近辺）の一部を継続借用し補う。
  - ③ その他：学童の体育館ギャラリー再利用開始（令和5年4月より）

### (3) 「校務のスマート化」を推進し、職員が児童と健康に暮らす学校にする。

- ① 「週時程」の一部を修正するとともに、15分を1単位とするモジュール制（1・5校時4モジュール〈60分〉）を指導充実に生かす実践を実現する。
  - ア 学習指導要領が示す年間標準時数を上回る指導時数を確保した上で、1・2年週23コマ、3年週25コマ、4年週25又は26コマ、5・6年25又は26コマとし、授業後の教材研究時間を確保する。
  - イ 木曜6校時は、原則クラブ（4～6年参加）と委員会（5・6年参加）のみとする。
- ② 現行校務を見直し、試行を経て随時改善する。
  - ア 職員会議は60分以内、学年主任会等は30分以内とする。
  - イ 校務支援ソフトやタブレット等を活用し、校務の一層の効率化と質的充実を進める。
  - ウ 電話対応は7：30～18：00を原則とする。他は緊急メール対応とする。
  - エ 「定時退校日（毎週水曜）」は原則17：00までの一斉退勤日とする。他の平日は、18：00退勤を奨励する。＊本校教員の勤務時間は8：00～16：30（7時間45分）です。
- ③ 令和4年度実施の学校・学年等行事を基本として、令和5年度案を策定する。
  - ア 学校・学年行事の今年度総括を生かし、新年度の要項素案を作成し備える。
  - イ 感染症の政府の対応指針等を踏まえ、必要な措置を迅速に講ずる。
  - ウ 「150周年記念事業」は、予定教育実践との関連やバランス等を吟味して取り組む

## 3 新年度の主な対応・変更等について

### (1) 学級編制（クラス替え）を実施する。

- ① 児童の社会性の伸長等を目的に、現1～4年（新2～5年）は新たに学級を編制する。

### (2) 「希望制保護者面談」を5月下旬に新規実施する。

- ① 希望する保護者と、学校適応等について懇談する機会を新たに設ける。

### (3) 「給食着の個人所有・管理」を新入学児童から段階的に進める。

- ① 市全体の取り組みとして、健康の維持や衛生面、管理面の諸課題への対応するため、新入学児童から個人所有（購入）の給食着を利用し配膳作業に取り組む。
- ② 新2年生以上は、原則として現行方式（貸与品利用と洗濯対応）を継続する。

### (4) 3～6年「交通安全教室」の内容を見直す。

- ① 自転車を利用して登下校する際の事故と多人数実施による他への影響等に配慮し、自転車を利用しての教室としない。天童警察署員による法規と身を守る行動等の内容とする。
- ② 1・2年は、交差点における危機予測と回避を主とした活動を継続する。

### (5) 児童会委員会活動には、新5・6年生が参加する。

- ① 児童数の増加に対応し、児童一人一人の活動参加を保障するために措置する。
- ② 児童が主体的に「計画・実施・評価・改善」を重ねる取り組みとし、実践力を高める。

### (6) 天童織田の里歴史館（旧東村山郡役所）と連携した教育実践を進める。

- ① 高揃薄荷（ハッカ）の歴史や活用策等を、総合的な学習の時間の充実・深化に生かす。

## 最後に

- \* 現時点で、来年度の1年生は3学級となり、学校全体では1学級増に。児童数は380名程度が見込まれています。今後数年間は児童が増加し、学級も増える見込みです。
- \* 政府の「新型コロナウイルス感染症対策本部」の新たな方針により、4月からの感染症対策や学校運営が変更となる見込みです。文部科学省や県・市の通知等を踏まえ、適切に判断し、対応して参ります。
- \* 学年末・学年始め休業中の急なご連絡は、一斉メールを利用して配信いたします。